

令和7年度 遺伝子組換え食品検査

検査項目

検査項目	備考
安全性審査済み遺伝子組換え大豆の組換え遺伝子（RRS、RRS2、LLS）の含有率	食品製造施設で使用されている原材料（輸入大豆）について、遺伝子組み換え農産物の混入状況と分別生産流通管理の整合性を確認し、当該原材料を使用して製造された製品（最終製品）の表示の整合性を確認

検体詳細及び検査結果

令和7年10月14日及び11月4日収去

	検体	原産国	結果の適否
1	大豆	カナダ	組換え遺伝子の含有率は5%以下であり、最終製品の表示は適切でした。
2	大豆	カナダ	組換え遺伝子の含有率は5%以下であり、最終製品の表示は適切でした。
3	大豆	アメリカ	組換え遺伝子の含有率は5%以下であり、最終製品の表示は適切でした。
4	大豆	アメリカ	組換え遺伝子の含有率は5%以下であり、最終製品の表示は適切でした。
5	大豆	カナダ	組換え遺伝子の含有率は5%以下であり、最終製品の表示は適切でした。